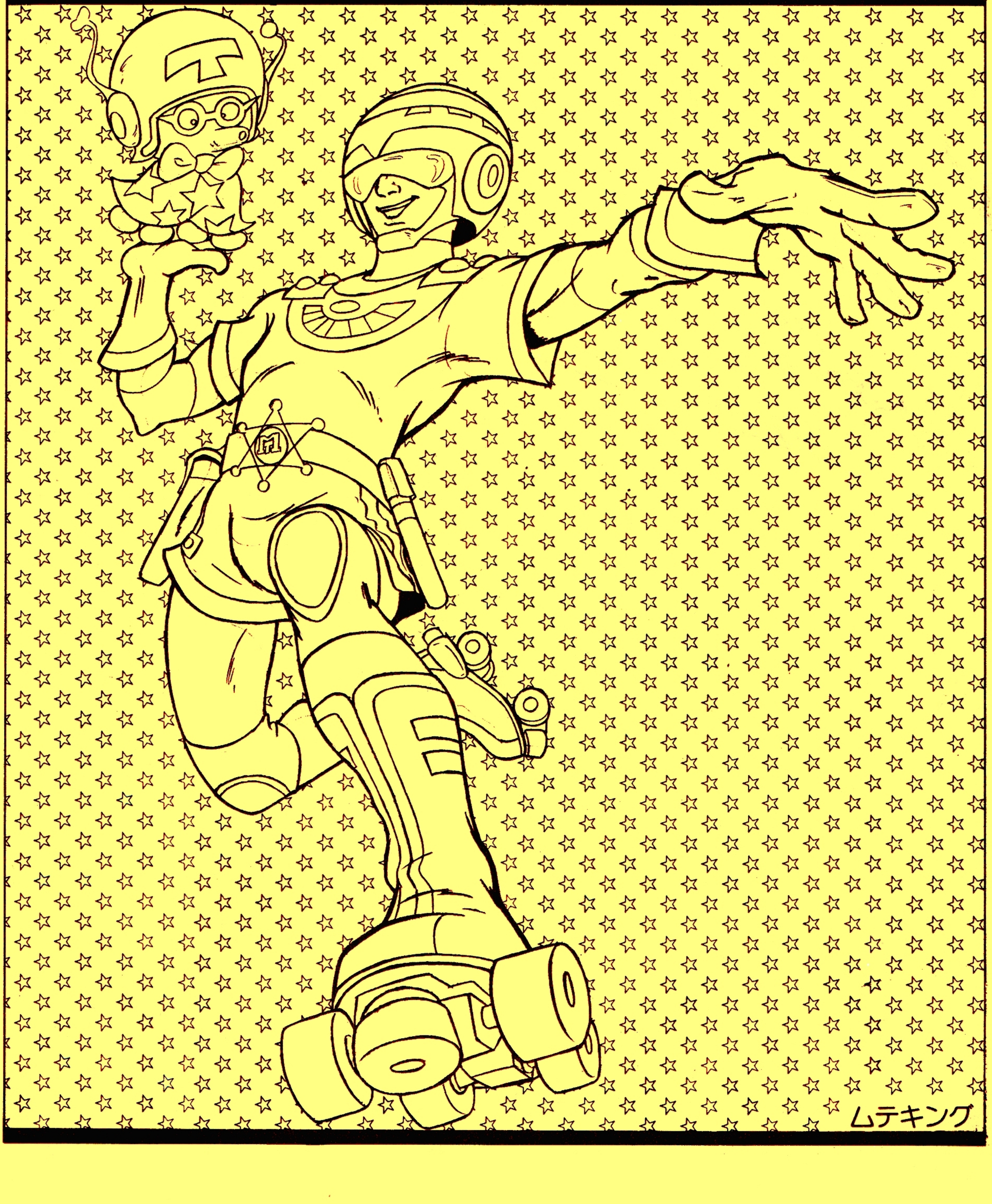
Tatsunoko

竜の子ファンクラブニュース

NO. 11 Oct 1980

FAN CLUB NEWS



とんでも戦士 ムテキング

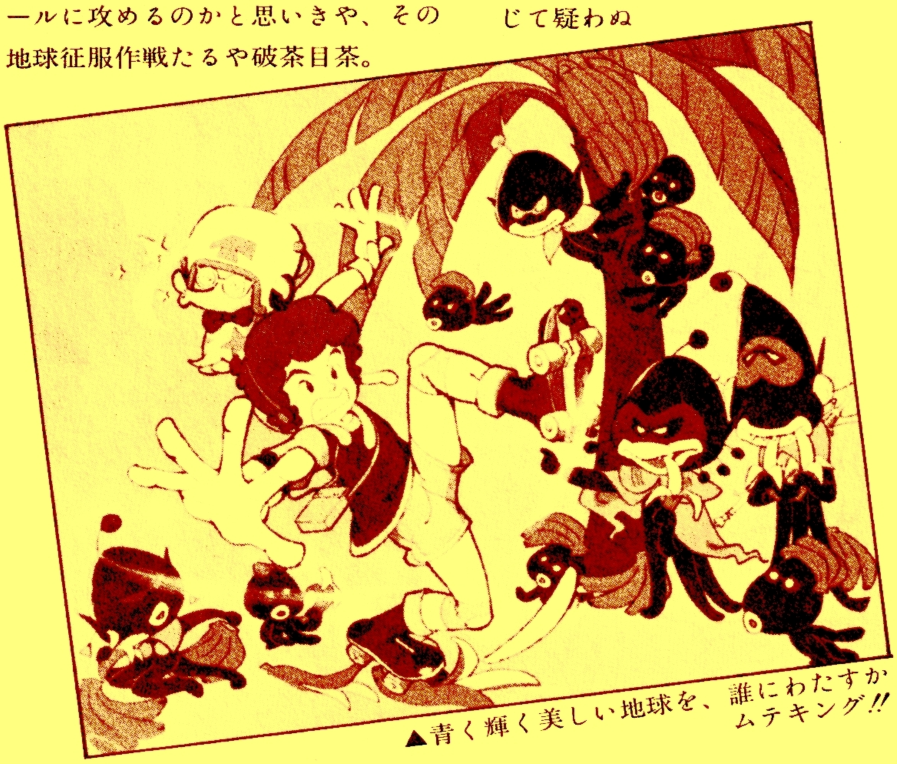
■毎週日曜PM6:00
フジTV系
乗りに乗って放映中!!

ねえ、ポリマー＋（プラス）ヤッターマンの魅力があるんだって、知ってた!?

お忙しいところ突然ではありますが、この9月に登場しました『とんでも戦士　ムテキング』　もう御覧になったでありやしょうか。

一言説明しちゃうと……。ある日突然、果てなき宇宙の彼方タコ星から地球を征服せんがため飛来した悪党タコベーダー、クロダコブラザーズ。インベーダーならスマートにクールに攻めるのかと思いきや、その地球征服作戦たるや破茶目茶。一日中時計を12時にして人間にお昼ばかり食べさせて、豚みたいに肥やしちゃうとか、町中を遊園地にして遊び呆けさせちゃうとか、もうた〜いへん！かわゆいのはいいけれど、クロダコブラザーズをこのまま野放しにするわけにはまいりませぬ。

タコベーダー研究家の遊木団吉博士は、タコベーダーの大予言書と信じて疑わぬ「タコ記事」を掲げ、タコベーダー退治に乗り出した。けれど、このズッコケ博士、口は達者だが行動がちっとも伴わない。そこで登場したのが、われらがヒーロー、ムテキ〜〜ング!!

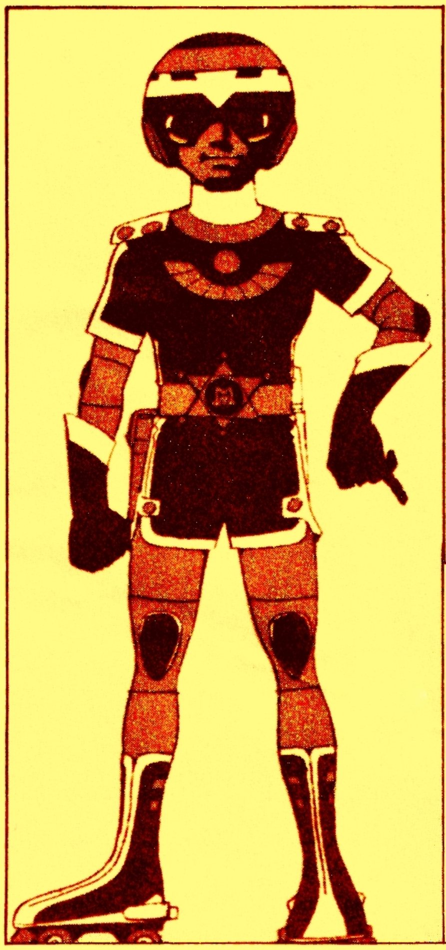


▲青く輝く美しい地球を、誰にわたすかムテキング!!

団吉博士の次男、遊木リンは、ちょっと(?)三枚目だけど、正義感は人一倍。タコ星からクロダコブラザーズを追って来た保安官助手、タコローの超能力でムテキングに変身すると、サッソウと悪に立ち向かうのだ。お伴は、意志を持つメカ、ホットケソーサーであります。

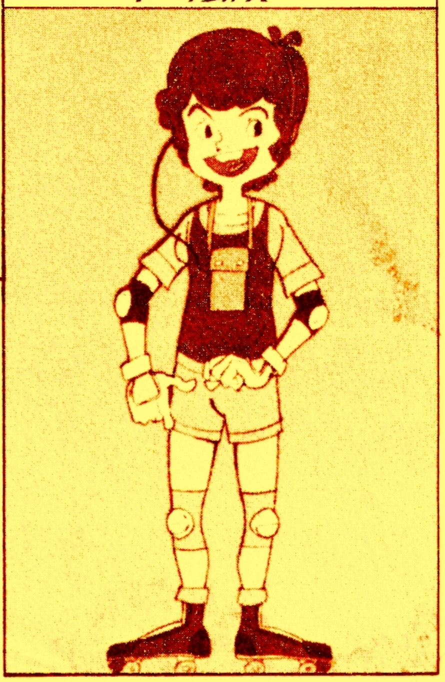
このホットケソーサーが、番組後半のアクションシーンでシリアス玉を射ち出すと、辺りは忽（たちま）ちギャグ調からシリアス調に一変して、突然スターウォーズ風の宇宙空間や影ムチャ風の原野になっちゃうというのだからオドロキ。こうして、ムテキングとクロダコブラザーズの痴で痴を洗う戦いが展開するのであります。

一件落着して、リンは「ムテキングは僕なんだよ」と言うけれど、誰も信じちゃくれない。だけど、くじけちゃいけない青少年、君には希望の明日がある、がんばって〜〜!!



■遊木リン(12才)　井上和彦

主人公。正義感は人一倍強いのだが、ちょっと人にほめられると調子に乗りやすい二枚目半。世間では全く認められていない父・遊木団吉博士を信じ、タコベーダー研究所の助手をしている。ふとしたことからタコ星人のタコローと知り合い、友人となる。そして、リンはタコローの協力でスーパーヒーロー、ムテキングに変身し、宇宙からのインベーダー、クロダコブラザーズに立ち向かう。



■ムテキング

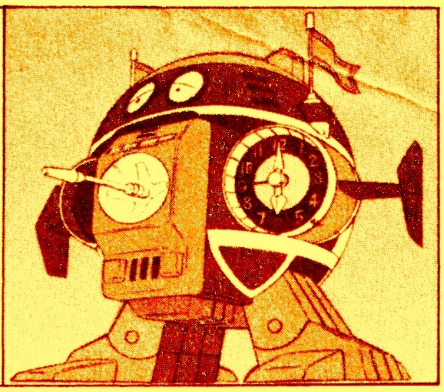
タコローがリンを超能力で変身させることによって、誕生する。ムテキンビーム、ムテキンキックなど様々な必殺技を持っている。だが、弱点はリンが変身していられる時間に限りがあるということ。変身時間は、タコローの体調(エネルギー) に比例しているからだ。

■タコロー　有崎由見子

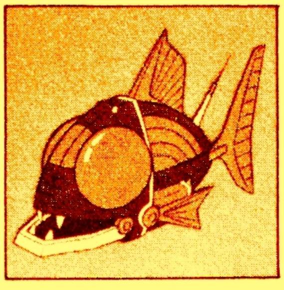
宇宙の彼方、タコ星の保安官助手。地球に逃げ込んだおたずね者・クロダコブラザーズを追って、飛来する。シー調で実行力はあまりなく、女好き。タコ星人は皆すごい超能力を持っているのだが、タコローの能力は極めて弱い。ただし、リンをムテキングに変身させる際に必要な超能力は光っている。

■ホットケソーサー　加藤修

意志を持った時計型の円盤。タコローがタコ星から乗って来た乗り物であり、友達でもある。だが、正義感が強すぎて、人の行動にあれこれと口をさしはさむ。タコローやリンにとっては頼りになる友だが、同時に煙たい存在でもある。何故か英語がペラペラ(ホットケ)

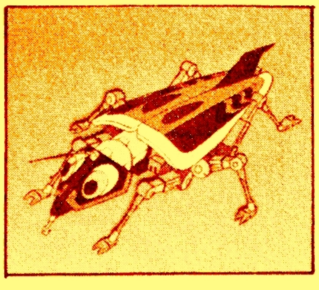


収　納　メ　カ



▲メデタイン

▲サイザンス



▲コンチューター

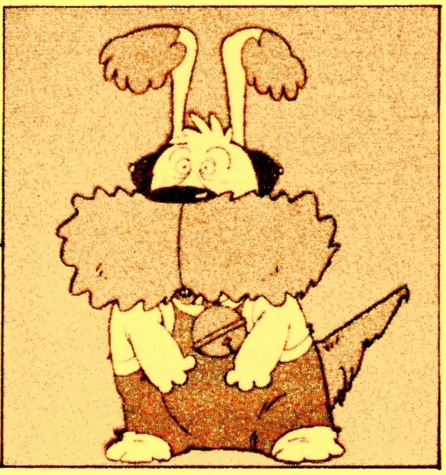
遊木家の人々 V

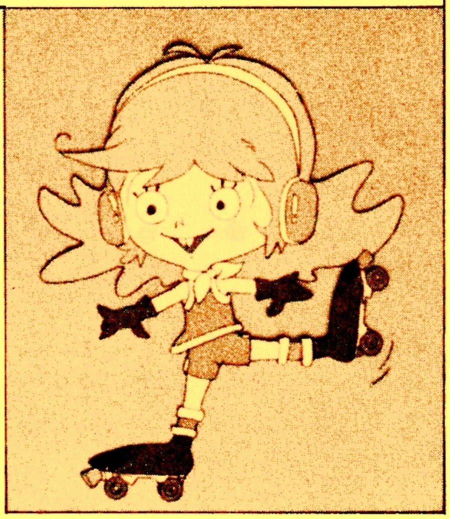
■遊木サニー(20才)　納谷六郎
リンの兄。派手好きで目立ちたがり。父親の地味な生き方をきらい、家を飛び出す。刑事こそ格好よく、女の子にモテモテの職業と勝手に決め込み、ただ押しの一手で刑事になってしまう。まだ下っ端刑事なのだが、すぐ一人前の顔をしたがり、署長である母親、小春に大目玉をくらってばかりいる。

■遊木小春(38才)　小宮和枝
警察署長。美人でパリパリのキャリアウーマン。遊木博士の妻。警察署長という自分の仕事に生きがいを感じ、毎日飛び回っている。キャリアウーマンのヨロイの下には思わぬ優しさが秘められている。

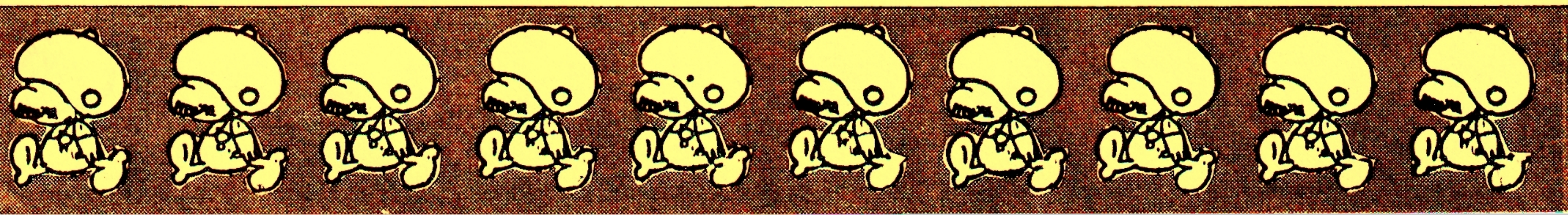
■遊木博士(50才)　田の中勇
タコベーダー研究所の所長。宇宙考古学者。もと国際科学技術庁宇宙考古学課の一員だったが、遊木家に伝わるタコ事記のことをあまりに宣伝したため、首にされてしまう。だが、当人はいっこうに気にせず、タコベーダー研究所を設立して、タコベーダー研究に情熱を傾けている。

■ミッチー(7才)　筒井たか子
遊木博士の助手。今は亡き遊木博士の友人の一人娘。身よりがないため遊木博士に引き取られ、実の娘のように育てられている。お転婆で底抜けに明るいトンデル女の子。遊木家の家計簿を預るしっかりものである。



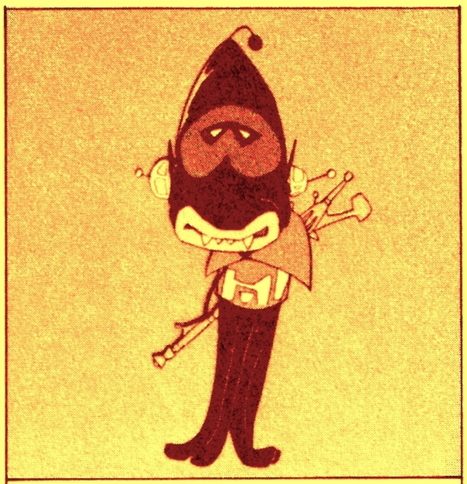


■ヌーボン　中村武己
リンの愛犬。自分が犬だという自覚がまるでない変わった犬。特技はタヌキ寝入り。以前飼われていた家と遊木家を比べては批判する。



s クロダコブラザーズ

■長男・タコキチ　大平透
腕自慢で破壊主義者。権力指向が強く、何でも自分がお山の大将でないと我慢できない。だが、末の妹のタコミちゃんのためなら、命さえ捨てかねない優しい一面もある。



■次男・タコマロ　辻シゲル
作戦・メカ操縦担当。兄弟の中では一番悪知恵に長けている。小市民的な男で、かなりセコイ。自称二枚目で女には自信を持っているが、そのキザさがきらわれ、フラレてばかりいる。

▲人間に化けたクロダコブラザーズ
左上から、タコミ・タコキチ・タコサク・タコマロ。タコ星で保安官に追われ、地球に逃げてくる。変身能力を有し、人間や動物の姿になって、悪事を重ねる。

■長女・タコミちゃん　高坂真琴
末の妹。かなり早熟で男をたぶらかす魅力にあふれている。リンやタコローに色目を使い、骨抜きにしようとするが、失敗してしまう。

■三男・タコサク　青森伸
メカ作りの天才。普段は気が弱くトロイが、いざメカの前に座るとものすごい迫力で仕事をしだす。いなか弁を使い、戦いは好まない。

■制作スタッフ

制作：タツノコプロ　吉田健二
原作：竜の子プロ企画室
企画：九里一平　柳川茂
プロデューサー：九里一平　宮田知行
総監督：原征太郎
キャラクター：九里一平　下元明子
美術：多田喜久子
メカデザイン：大河原邦男
作画総監修：宮本貞雄
作画監督：河合静男
文芸担当：柳川茂
脚本：酒井あきよし　首藤剛志
　　山崎晴哉　山本優
演出：真下耕一　植田秀仁
音楽：はやし　こば
主題歌：コロムビアレコード
ローラーヒーロームテキング
　作詩／康珍化
　作・編曲／渡辺宙明
　歌／水木一郎
　　フィーリングフリー
録音：ザックプロモーション
効果：アニメサウンド
制作担当／小林正典
　内間稔　大野実(読広)

科学忍者隊
ガッチャマンF
ファイター

永遠に翔べ!!　不死鳥の戦士たち

「総裁Z、お前ごときにこの美しい地球は渡さん。この地球は俺たちのものだ。出て行け、この宇宙から出て行け——!!」

健、ジョー、ジュン、甚平、竜は戦った。総裁Zを倒し、恐ろしい地球壊滅作戦、反物質惑星計画を阻止せねばならない。たとえ己れが死すともそれが忍者隊に課せられた任務だ。否、愛する故郷地球を汚されてなるものか。守るのは自分たちだ—。

健は傷つき疲れた仲間を見つめた。

「俺はお前たちに無茶な戦いばかりさせてきた……。だが、これが最後だ……。たとえ絶望の淵に陥っても敗北の2字だけは考えるな！　考えたらそれだけで負けだ……。たとえ一人でもだ!!」

忍者隊は決死の覚悟を抱き、総裁Zに突き進んで行く。

しかし、反物質惑星が地球を襲うまで、もうあと幾秒もない。果して、この短い時間の中で、Zを倒すことができるのだろうか!?　なんとしても総裁Zの中枢部を捜さなくてはならない。Zの中枢部が反物質惑星を誘導しているにちがいない。それを叩きつぶせば反物質惑星を地球から遠ざけることができる!!　だが、ジョーのブラックボックスをたよりにやっとの思いで見つけ出した総裁Zの本体は、わずか数10センチの小さなメカブレーンにすぎなかった。こんなちっぽけなものが鉄獣を造り、エゴボスラーを操り、地球を滅亡の危機に直面させていたのか!?

健は怒りという怒りをこめて、ガッチャマンフェンサーを総裁Zに叩き込んだ。——この長い戦いの間、俺たちはたくさんの犠牲を強いられた。父を、南部長官を、パンドラ博士を、そしてジョーの身体をボロボロにしたのは……ギャラクターの参謀を狂わせ、人々を死なせたのはお前だ。許せん——その思いがガッチャマンフェンサーの一振りにあったろう。

忍者隊よ、戦いは辛くなかったか。恐くはなかったか。逃げ出したいとは思わなかったか。何故そんなに自分の身体を粗末にする——けれど止めようとするのは無駄なことだ。己れが傷つこうとも、南部長官の遺志を継ぎ、地球を守るのだという、その心が痛いほどわかるから……。

総裁Zは忍者隊によって絶滅した。反物質惑星の動きも止まり、地球は救われたのだ。だが、忍者隊はすでに自分の足で立つ体力すらなかった。可酷な戦いの中で、身も心も砕けそうであった。もうその生命の存続はさだかではないのか……？

健はうすれてゆく意識の中で、南部長官の幻影を見た。

「君がやらねばならんことは、Zを倒すことだけではない。生きることだ。生きて地球の復活する日をその目で確かめることだ……。私が君たちに望んだことは、生きて欲しいということだったはずだぞ」

そうだ、忍者隊、立つんだ!!　君たちは永遠にはばたく火の鳥ではなかったのか。生きて、生きて地球にもどり、その無事な姿を鴨技師長や地球の人々に見せてやってほしい。戦いは終わった。自らの青春を犠牲にして三度(たび)地球を救った忍者隊。今度こそ真の平和が地球にもどると、そう信じたい。そして一人一人の青春をみつけてほしい。

永遠に翔べ、不死鳥の戦士たち!!

日本のファンに負けず、がんばつてます！

▲上段右より宮本貞雄、九里一平、成島弘毅

過日、７月30日から５日間、竜の子プロ海外担当の成島弘毅、九里一平、宮本貞雄は、アメリカの『サンディエゴ　コミック　コンベンション』に行って参りました。この『サンディエゴ　コミック　コンベンション』は、皆さんよく御存知の日本でいう“コミックマーケット”（通称コミケ）のプロ版のようなもの。ほぼ毎年催され、各漫画関係者がおのおの資料を出品し、展示即売を行い、拡く漫画集会としてその名が知られています。

今年は近年世界に台頭してきた日本アニメの特集がくまれました。日本からは手塚治虫、松本零二、モンキーパンチ諸氏が参加。竜の子も現在アメリカ版ガッチャマンが放映されているおり、セルやポスターにファンがつめかけていました。この催し物の参加者は延べ5,000～6,000人アメリカにもこんなにたくさん日本アニメのファンがいたこと、改めて驚かされました。

写真は会場につめかけたガッチャマンファンとの記念撮影。なんと、お手製のガッチャマンのＴシャツにスラックスをそろえての登場です。

「学園祭やフェスティバルには、バードスタイルでアトラクションもします！」

と、その熱狂的なガッチャマンファン振りを披露してくれたとか。たとえ言葉や習慣がちがっても、ガッチャマンに感じることや、ファン振りには共通しているところがあるのだな——と、何故か嬉しくなってしまいました。

皆さんもお時間がありましたら、ぜひアメリカファンクラブにお便りしてみませんか？　下記はアメリカファンクラブの代表者です。

FREDERICK　PATTEN
11863　West　Jefferson　Blvd.
Culver　City　California
U.S.A.　90230

英語の勉強と思いつつ、ひとつがんばってみよう。

メモランダム

カレンダー販売のお知らせ

1981年、タツノコカレンダーが、できました!!　ガッチャマンをはじめ、ムテキング、オタスケマン、リルビット、貫太くん、テンプルちゃんなど、竜の子ヒーローが勢揃い。

通信販売は次の通り承っております。

お値段：一部1,000円（送料無料）

御申込：郵便振込を御利用下さい。ただ今御申込の方には、紅三四郎のシールをもれなく差し上げます。発送は10月末頃になります。

支部局情報

▲宮城支部上映会

日時／昭和55年11月16日（日）
会場／仙台市民会館　視聴覚室
フィルム／オープニング集
　　　　カバトット（予定）

ほか、参加者全員にプレゼントを用意しております。御申込方法、詳細につきましては、返信用切手、または葉書を同封の上、下記へお問い合せ下さい。

980　仙台市川内三十人町49－50
　　佐々木紹子

また、これから冬休みにかけて、各支部上映会等を企画中です！

イベントレポート
GATCHAMAN FES 2

Y嬢　恒村嬢

ギャグコンビと称せられる、司会のY嬢と恒ちゃん!!

熱唱の功氏

省エネルギーのため
世の中すべてエネルギーがさし
とめられたー!!
南部長官は考えた末、ジョーを
ゼンマイじかけにしたのでした。

たおれるギャラ

キマッタワッ!　ギャラをたおしたのよ♡

8月2日(土)、今日はいよいよ第2回ガッチャマンフェスティバル開催の日。朝8時30分。昨日から泊り込んでいた九段会館新館ホテルから、千代田公会堂へ向かう。明け方まで準備にかかっていたので、少し寝むい。とにかく考えをまとめなければと気持ちを引き締める。スタッフとの打ち合せは万全だろうか。フィルムや物販品、アトラクション用のぬいぐるみは揃っているだろうか？　手ぬかりが一つでもあってはならない。このフェスには半年間の準備期間を要したのだ。なんとしても成功させたい。

9時50分。開演10分前。舞台のソデから客席をのぞき込む。覚悟はしていたもののほぼ会場は満員、800人という来場者には、さすがに緊張してしまう。皆、GMのTシャツを着たり、ポスターやキリヌキの入ったパネルを持ったり、思い思いにファン振りを見せている。期待に満ちた表情。チケットを手に入れたその日から、この日を心待ちにしていたのだろう。

10時。ベルが鳴り響く。ついに開演！出番がきた。舌がもつれて挨拶をとちるなんてことないだろうな。

「みんな、しっかりやろうな！」

恒村嬢をはじめ、ファイヤーバードのスタッフの面々と声をかけあう。

オープニングは、原作ガッチャマンとアメリカ版ガッチャマンの対決。原作のガッチャマンがアメリカ版ではどのように編集されているか、キャラクターが英語を話すとどうなるか比較検討しようとプログラミングした。アメリカ版ははじめてというファンも多く、興味深々、まずまずの出足のようだ。

次に、死の谷のガッチャマン、さらばレッドインパルス、怒りに燃えたガッチャマンと、盛りあがったところで午前の部終了。ついに恐怖の物販タイムを迎える。何故恐怖なのかとあえて申せば、短い時間に一つの商品に何百人も押し寄せるのだから、セルは飛ぶ、シナリオははばたく、包装紙は破れるという状態になるのは必至。それはもう……。ふと思うに、あの包装紙、事務局のお姉様方が徹夜で袋はりをしてできる賜物(たまもの)だなどと、誰も気付きはしなかっただろうな（イジけてみる）

スタッフ一同、お昼を食べる間もなく、午後の部に突入。死斗！　海底一万メートル、ギャラクター島の決斗、三日月基地の最期、明日なき宇宙船レオナ3号、20年後のガッチャマンと名場面が続く。いいものはやはり何度見てもいい。画面と自分が一体となって、健とジョーのからみ、彼らのドラマがどんどんとオーバーラップしてくる。時々脱線して、パロリの精神が出たりする。20年後のガッチャマンで、年老いた南部博士がバラの花びらを一枚、二枚、「飛んでけ、花びらちゃ〜〜〜ん」と嬉しそうにむしっているのを喜んで見てしまう。

午後5時20分。これからが大切なところ。コスチュームショーに続き、佐々木功氏のショーが控えている。カラオケ、音響効果はうまくいくだろうか。また、コスチュームショーも今までのような寸劇とはちがう。30分間にわたるオリジナルストーリィだ。題して『GMパートⅣ!?　実写版ガッチャマン』　制作費の値上りとアニメーター不足のおり、ついに黒澤阿呆羅(アホラ)監督指揮のもと、ガッチャマンを仮面ライダーなみに実写でやってしまおうというもの。いったい誰がこんなアホなギャグネタ考えたんだい！（アハッ！　恒村嬢と筆者自身でありました）この日のために、日々特訓を積み重ねてきた。千葉真一の愛弟子、佐藤氏に殺陣(たて)を叩き込まれ、二段蹴りも何のその、お尻に黒いあざをつくり、顔を青くし、それでもなお堪えてきた。全治3ヶ月でスタッフ一同、未だに体を引きずっているが……。とにもかくにも、多々ハプニングはあったが（ガッチャマンフェンサーが足にからみ哀れ健は前後に股裂き(またさき)）なんとか佐々木功氏にバトンタッチ。ガッチャマン3曲、ポリマー、キャシャーンと全5曲の熱唱。ジョー役のエピソードなどの語りをまじえてのステキなショーでした。ふと思うに、サインをもらいそこねた。

午後7時。エンディングまで1時間半に迫った。スタッフや会場のファンを見回す。15本中既に12本も上映済でありながら、少しも疲れた様子はない。時間が時間だけに帰る人もいるだろうと心配していたが、皆最後まで参加してくれそうだ。

最終の部、狙撃集団ヘビーコブラ、死を賭けたG2号、地球消滅0002と3本続けて上映。総ての上映を終えた時、それまでしんみりとしていた会場がどっと湧いた。15本見終えた満足感に目を輝かせて、右に左に声をかけ合っている！　色々とドジも踏んだが、とにかく終了（したんだ！）　それなり苦労もしたが、やはりやってよかった。サポートしてくれたファイヤーバード、最後まで励ましながらつきあってくれたファン、皆の協力がなかったら、今日の日はもてなかったろう。余計な説明はいらない。一言、感謝したい。この気持ちを大切に、10月10日のフェス№3、来年に予定しているフェスも成功させたい。

（By　事務局のお茶汲みお姉様　Y嬢）

◀H10012　福吉佐恵子

ⒻⒶⓃ ⒻⒶⓃ

ベルフィーとリルビット
によせて

男の子　女の子

By　いわき市　小野栄子

ほんの些細なことだったのです。喧嘩の原因は……。

ベルフィーもリルビットもこんなに長いこと仲たがいになるとは思いませんでした。もう10日も二人とも喧嘩したままなのです。今ではもう二人とも仲直りをしたくてたまらないのに、ばったり顔を合わせるとつい横を向いてしまうのです。

ベルフィーは森の中を歩くのが嫌になってしまいました。そんなことを考えながら今日はちょっと歩いたことのない木々の間を歩いていきました。

ふと気がつくと木立ちはまばらになり、辺りは赤つめ草や白つめ草が群をなし、露草もその合い間をぬって茂っている野原が開けていました。

「あら、山を降りてしまったわ。どうしましょう。意地悪な人間の子供に見つかったら恐いわ……」

でもベルフィーは人間の子供を見たことがありません。ちょっと興味もあります。その時、子供の笑い声が聞こえてきました。ベルフィーは慌ててつめ草の中に身を隠しました。小さな男の子と女の子が笑いながら走って来ました。ベルフィーはじっと身を伏せたまま見ていました。あまりに小さいからと安心して近づき過ぎると見つかってしまうかもしれません。ちょっと離れた所からじっと見ていたのです。二人はお弁当を広げ楽しそうに食べています。ベルフィーもそういえばお腹が空いていたのでした。赤つめ草の蜜をなめていましたが二人が食べているお弁当は何て美味しそうな香りがするのでしょう。二人は食べながら笑い、歌っています。ベルフィーはリルビットのことを思いました。もう何日もリルビットと歌っていません。あゝ、リルビットと踊りたいわ。でも、その度に横を向いたリルビットの顔が浮びます。もうリルビットは私のことを嫌いになっちゃったのだわ。そう思うと悲しくなりました。

おや？　二人の様子が変です。さっきまでの楽しそうな声とはうって変わり、棘々した声で何か言い争っています。そのうち男の子は女の子に背を向けて、家の方へ走って行ってしまいました。女の子は一度も振り返らず、じっとこちらを向いたままうつむいています。そのうちキラッと光る大粒の涙がポトポト握りしめた拳の上に落ちました。ベルフィーはどうしようかと思い、おそるおそる近づいてみました。女の子がうつ向いていたのでつい油断したのかもしれません。女の子が顔を上げたのとベルフィーが切り株の陰から顔を出したのとが同時でした。女の子は目を見開いたままじーっとベルフィーを見ています。涙は止まってしまいました。なんてヘンな人間かしら。こんな小さな人間っているのかしら。妖精かしら？　それとも虫？

「あなたはだあれ？　小人なの？　それとも魔法使い？」

見つかったベルフィーは慌てて逃げようと思いました。

「待って、行かないで。エディは……私のお友だちは帰ってしまって私一人なの。そうだ！　ビスケットをあげるわ。ねっ!?」

女の子は真赤な目をしています。ベルフィーは一人ぼっちの女の子が自分のような気がして可哀相になりました。それにこの女の子は意地悪そうには見えません。女の子はバスケットの上にハンカチを広げベルフィーの席を作りました。「私はローリー、よろしくね！」ベルフィーは差し出されたビスケットを両手に受け取ると端をちょっとかじってみました。カリッと甘く香ばしいにおいが辺りに拡がりました。

その時、ガサッ！　突然音がしてベルフィーは振り返りました。まあ驚いた。そこにはリルビットが大きな目と口を開けて立っているではありませんか。ベルフィーはびっくりして何か言おうとすると、女の子が言いました。

「まあ！　あなたのお友だちね。一緒に来たのなら早く言ってくれればいいのに！　あっ、私が一人ぼっちなのに二人で来ちゃいけないと思ったの？　そんなこといいのよ。エディなんかもう知らないんだから。いらっしゃい、三人でピクニックのやり直しをしましょうよ」

そう言ってリルビットにビスケッ

トを差し出しました。リルビットはベルフィーの驚き、とがめるような目も気にせず、切り株の上に飛び乗り少女からのビスケットをひとかじり、ところがあまりあわてて飲み込んだものですから、喉につまってしまい大慌て、赤つめ草の蜜を飲んでやっと落ち着きましたが、女の子もベルフィーも大笑い。ベルフィーはさっきまでの目つきは忘れたように笑い転げています。

ベルフィーもリルビットも人間にとっても興味があるのですが、二人が質問する間もなく女の子はしゃべり続けます。

「ねえ、あなた達は小人でしょ。魔法は使えるの？　あゝ使えたら素適ね」

「私達はファニット、小人族なの。妖精でも、魔法使いでもないわ」

「あら、使えなくても素適だわ。こんなに小さくなれて、蝶や、小鳥達と遊んだり、花の蜜を吸ったり、とっても楽しいのでしょうね」

女の子の口は止まることを知らないようです。

「そう、小鳥といえばママが飼っているカナリアをエディの子猫が狙うのよ。エディと同じで憎らしい子猫よ。でもね。私がエプロンの上に抱き上げると、きまって私にキスをするのよ。その時だけはとっても可愛いの。でも、もうあの子猫にも会えないわ。キスしてくれないわ。エディ仲良しだったのに、私が悪いんだわ。意地悪して、えっえっ……」

女の子は泣き出しそうです。二人は女の子の肩に乗るとその赤い頬にキスをしました。ファニットは魔法使いではありませんが、二人は魔法でも使えたのかと思いました。女の子は突然「エディ！」と叫んで駆け出したのです。そこには少年が立っていました。女の子が突然駆け出したので肩の上の二人はつめ草の中にまっさかさま。でも安心して、身軽な二人は怪我もせず、花の中へ落ちました。

「僕、僕、ローリーのことが心配になって……。女の子を一人にしてはおけないもの。急いで戻って来たの。でも、でも、今の何？　あれ小人？　何もされなかったかい？」

「まあエディ、大丈夫よ。ファニット族っていうんですって。もちろん小人よ。信じられない？」

「ううん、僕もいつか見たいと思ってたんだよ。ねえ君達、僕にもよく見せてよ。本当に小さいんだね」

４人は歌ったり笑ったり、踊ったり。仲直りするのはなんて素適なんでしょう。ベルフィーもリルビットもいつもの倍も元気よく歌いました。程よく疲れた時、ローリーはエディに赤つめ草の花輪を差し出しその頬にキスしました。少年は頬を赤らめ、

「ありがとう、ローリー。さっきは御免ね。また前のように仲良しになろうね」

▲福島　渡辺則子

と、ローリーの頬にキスしました。もうそろそろ日が傾きかけています。４人は別れのキスをしてそれぞれに別れました。

ベルフィーもリルビットも以前と同じに仲よしの二人に戻っていました。ベルフィーはどうしてリルビットがあとをつけて来たのか聞いてみようかとも思いましたが、もうそんなことはどうでもいいように思えました。夕日はオレンジ色に輝き、山の陰に隠れそうです。さあ、帰らないと、帰り道が暗くてわからなくなります。急ぎましょう。

本当にベルフィーたちが人間に出会ったら、こんな風じゃないかな。

次号FAN FANは、GMシリーズ終了を記念し、GM特集第２弾を編みます。旧作からファイターまで、イラスト、アニメ論、質問でも、貴方の原稿を10月末まで送ってくれ!!

TATSUNOKO FAN CLUB NEWS
OCTOBER 20, 1980/VOL.3 NO.11 published TATSUNOKO FAN CLUB
〒185 22-12 3-CHOME, MINAMI-CHO KOKUBUNJI-CITY TOKYO, JAPAN
AYAKO YOSHIDA publisher/HIDEO TAKANO manager/MACHIKO YAMAMOTO editor/
Ⓒ1980 TATSUNOKO

事務局だより

お待たせ!! ついに実現 ポリマー上映会

ちょいと早いかな、と思いつつもこれが言わずにおらりょうか。なんといっても、ポリマー上映会が事務局でついに、ついに、実現できることにあいなったのですから!!……（オマケ）！

これからはあちらこちらの局でポリマーの再放送の機会も多くなると思いますが、残念ながら今までは殆んどありませんでした。この夏にロマンアルバムは発行されたものの、まだまだ欲求不満だという貴方、またオモシロスギルギャグアニメと噂を聞きつつ（あ〜〜、身びいきや）その全貌をつかみきれないでいる貴方へ!! この機会にぜひその欲求不満を、好奇心を満たして下さいませ。

時は来年３月29日（日） 現在予約受付中。チケットは来年１月末頃より発送いたします。

日時：昭和56年３月29日（日）
　　AM９：30〜PM４：00
会場：東京・水道橋労音会館
　　（中央線水道橋下車）
フィルム：ポリマー　７本
　　◎この話数は、皆さんからのリクエストで決定します。
　旧作ガッチャマン　２本
　　＃26　よみがえれゴッドフェニックス
　　＃66　悪魔のファッションショー
チケット：前売　会員　700円
　　　　　　　　一般　1,000円

郵便振込、または無記名の小為替にて、会員№ TEL、会員何名、一般何名参加かを御記入の上、御申込下さい。

※内容等に関しまして多少変更する場合もありますが、その旨あらかじめ御了承下さい。

集まれ！ GM仲間

今年１月７日に第１回、８月２日に第２回、10月10日でガッチャマンフェスティバルも第３回を迎えます。回を重ねるごとにお馴染のファン同士で交流会ができたり、朝、見知らぬ顔で並んだ隣り同士が帰りには住所や電話番号をたずねあい、まるで10年来の友人のように別れていく—という光景をよく見かけます。GMが好き！ という心が互いに親しくなれる一等のKEYなのでしょうね。

とくに今回の南部長官の告別式には「おそろいで黒のスラックスに白のシャツ、黒のネクタイで行こうか」とか、「南部長官は仏教とキリスト教とどちらでやるのかしら」と事務局に遊びに来る方も、その話でもちきりのようです。また「当日行けませんのでせめて……」と御香典や電報、お便りをたくさんいただきました。誌上にてたいへん恐縮ですが、厚く御礼を申し上げます。おあずかりしました御香典は告別式の費用にいたします。ありがとうございました。

お願い

事務局では会員の皆さんに、継続会費、通信販売、上映会参加費等の御入金は郵便振込にてお願いいたしております。この振込用紙は口座番号、加入者名をすでに記入済の用紙を、ファンクラブニュース発行の際（隔月の発行予定）に同封しております。御一人御一人、御利用に応じてお送りできませんので、お手もとに保管しておいて下さい。また、御利用の際には裏面の通信欄に会員№、電話番号、金額明細を必ずお書き下さいます様、お願い申し上げます。